

# 令和03年3月（第1回）岩倉市議会定例会

## 一般質問通告要旨

### 1 木村 冬樹 議員

- 1 行政のデジタル化・標準化は地方自治体をどこへ導くのか
  - (1) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種をマイナンバーで管理することはやめるべきではないか。
  - (2) コロナ禍の教訓をデジタル化の遅れに求めるのはおかしくないか。
  - (3) 行政のデジタル化・標準化を進める政府の姿勢をどう見ているのか。
  - (4) 地方自治が国政を変えた歴史をどう見るか。
- 2 新たな行政評価制度に向けて
  - (1) 昨年度の施策評価には疑問があるが、どのように評価したのか。
  - (2) コロナ禍の今年度の施策評価はどうなるのか。
  - (3) 評価項目を見直すべきではないか。
- 3 社会保障制度のさらなる拡充を
  - (1) 2022年からの国民健康保険税の子どもの均等割軽減に市独自の上乗せ軽減を検討すべきではないか。
  - (2) 介護保険の区分変更申請の状況はどうか。全体として要介護状態が重度化していないか。
  - (3) 市内の介護サービス事業所の推移はどうなっているのか。
- 4 水道・下水道の経営戦略を読み解く
  - (1) 改めて概要の説明を求める。
  - (2) 水道の広域化への姿勢はどうか。
  - (3) 民間委託推進と市民負担増につながるのではないか。

### 2 宮川 隆 議員

- 1 東日本大震災から10年を迎えて災害対策を今一度考える
  - (1) 災害対策の政策決定プロセスはどのようになっているのか。
  - (2) 政策や具体的な計画の立案段階で女性や避難困難者の意見はどのように反映されているのか。
  - (3) 事前復興計画策定の考えはないか。
- 2 行政運営の一翼を担う団体との今後のかかわり方、育成について考える
  - (1) 幾つかの団体が解散・事業の縮小・後継者問題等で運営に支障が出てきているが、実態把握と対策は考えられているのか。

- ① 観光事業
- ② 多世代交流
- ③ 高齢化に向けた取組
- ④ 自治会組織崩壊の兆し等

### 3 須藤 智子 議員

#### 1 所有者不明の土地対策について問う

- (1) 相続登記の義務化によって岩倉市での影響はどのようなか。
- (2) 所有権放棄の創設によって岩倉市での影響はどのようなか。
- (3) 共有制度の見直しによって岩倉市での影響はどのようなか。
- (4) 新たな財産管理制度によって岩倉市での影響はどのようなか。

#### 2 「生産緑地」の2022年問題について岩倉市での状況を問う

- (1) 農業を続ける意思があり、後継者がいて「特定生産緑地」の指定を受ける人の割合はどのようなか。
- (2) 農業を続ける意思がなく、後継者もいないので売却する人の割合はどのようなか。
- (3) 農業を続ける意思がなく、後継者もなく、買取申出を申請している人の割合はどのようなか。

### 4 大野 慎治 議員

#### 1 ごみ集積場所について問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 折りたたみ式ごみ収集容器（ネットステーション）を試行的に導入するべきではないか。

#### 2 ごみのない清潔で美しく快適なまちづくりについて問う

- (1) 現状について問う。
- (2) 岡崎市の取組を取り入れてはどうか。

#### 3 尾北自然歩道（五条川健幸ロード）について問う

- (1) 止まれ・一時停止線について統一的な表示にするべきではないか。
- (2) 名草線下の地下道（アンダーパス）は落書き対策が必要ではないのか。

#### 4 大矢公園調整池工事について問う

- (1) 本体工事後の公園整備計画はどのようなになっているのか。
- (2) 音のアートの一部を移設するべきではないか。
- (3) インクルーシブ公園として整備してはどうか。

## 5 プレミアム商品券発行について問う

- (1) 今年度のプレミアム商品券に対する評価はどのようになっているのか。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の経済対策として、市制50周年記念事業としても、再度プレミアム商品券の発行をするべきではないか。

## 6 岩倉神社の保護樹林について問う

- (1) 緑の基本計画との整合性はどのようになっているのか。
- (2) 職員体制・職員連携・職員教育は大丈夫なのか。

## 5 井上 真砂美 議員

### 1 男女共同参画社会の実現で課題と対策、本気さを問う

- (1) 「岩倉市男女共同参画基本計画」の基本理念「地域でともに支え合い、生活と仕事が調和するまち」で「地域」を「みんな」と呼ぶルビ付けに対して、どのような議論があったのか。
- (2) 男女共同参画社会実現における主な課題はどのようなものか。
- (3) 人材発掘における課題に対してどのように対策しているか。
- (4) 人材育成のためにどのような努力をしているか。
- (5) 弱者へのあらゆる暴力の防止・早期発見の施策どのようなものか。

### 2 市の貴重な水資源について問う

- (1) 岩倉市の自己水源と県水の現状について問う。
- (2) 災害時の水確保のために計画していることはどのようなものか。
- (3) 将来を考える時、小学校区毎に「井戸と手押しポンプ」の設置を望むがいかがか。

### 3 市の魅力度PRのために

- (1) 今あるものを修復し維持管理をして活用するのはどうか。
  - ① 岩倉駅西側のホームから見える壁面
  - ② 手入れされた花木や芝

### 4 コロナ禍での「学び」について問う

- (1) 水泳学習等できなかった学習の影響はいかがか。
- (2) 行事や授業参観等の精選や縮小で、親や地域の方とのつながりの影響はいかがか。
- (3) コロナ禍で個々の学習を深める「学び合い」の状況はいかがであったか。
- (4) 来年度以降の学校教育への影響はいかがか。

## 6 谷平 敬子 議員

### 1 デジタル化の効果を高齢者にも広げるべきではないか

- (1) 本市のマイナンバーカードの普及状況と普及促進に向けた取組は。
- (2) 高齢者に対するスマホ講座の開催や支援を行っているのか。
- (3) 高齢者デジタルサポーターの人材発掘と育成を求める。
- (4) 75歳以上の高齢者にスマホ購入の助成を。

## 2 自転車ヘルメット購入助成について

- (1) 本市の自転車事故の現状はどのようなか。
- (2) 本市の自転車ヘルメット着用の啓発はどのようなか。
- (3) 命を守るため自転車ヘルメット購入の助成はできないか。

## 3 市民の防災意識向上への取組は

- (1) 市民の防災意識を高めるための対策はどのようなか。
- (2) 防災グッズや避難所備品を市役所などの公共施設で展示してはどうか。

# 7 水野 忠三 議員

## 1 通学路の交通安全確保を問う

- (1) 小中学校の通学路の交通安全確保については、現在、どのような施策が行われているか。
- (2) 交通指導員の役割をどのように認識しているか。
- (3) 交通指導員の待遇、関連する予算額は。
- (4) 交通安全確保のボランティア活動に従事していただいている方々からのご意見は。また、現状及び課題は。
- (5) 交通指導員とボランティアの方々の「より良い協働」は。

## 2 新型コロナウイルスワクチン接種会場への移動手段確保、及びワクチン接種の機会確保を問う

- (1) 現時点で、新型コロナウイルスワクチン接種会場への移動手段確保について、課題をどのように認識しているか。
- (2) 自宅から外出が困難な方々のワクチン接種の機会確保をどのように図るか。
- (3) ふれ愛タクシーの利用料金等をワクチン接種目的に限定して無料化・無償化できないか。
- (4) 岩倉駅や市役所などからワクチン接種会場へのシャトルバス等を運行できないか。
- (5) 上記<sup>(3)</sup>、<sup>(4)</sup>について、交付金など、国・県からの補助は見込めるか。

## 3 小中学校での食育及び学校給食を問う

- (1) 愛知県「あいち食育いきいきプラン 2025（第4次愛知県食育推進計画）2021年度～2025年度」及び岩倉市「第3期岩倉市食育推進計画（令和2年3月）」を小中学校の教育現場ではどのように反映させていくか。
- (2) 小中学校での給食の現状及び課題は。

- (3) 「愛知県の成人1日あたりの野菜摂取量は男性、女性どちらも全国的に見て低い水準」といわれることがあり、健康増進の観点から小中学校段階の食育や学校給食での対応も必要と考えるが、どうか。
  - (4) 学校給食で、大豆を食肉（ミート）のような食感に加工した食材である「大豆ミート」（ソイミート・ベジミート）など、野菜がさらに好きになる食材等も活用できないか。
- 4 愛知県「あいちビジョン 2030」（計画期間：2021年度～ 2030年度）と 岩倉市政との関連を問う
- (1) 愛知県の「あいちビジョン 2030」（計画期間：2021年度～ 2030年度）と本市の「第5次岩倉市総合計画」との関連を問う。
  - (2) 2040年頃の社会経済の展望を考えた場合の本市の課題は。
  - (3) 地域づくりを推進していくに当たって、本市の近隣市町も含めた、留意すべき横断的な課題としてはどのようなものがあるか。
  - (4) 愛知県の「あいちビジョン 2030」と本市の「第5次岩倉市総合計画」とのより良い「相乗効果」をどう図っていくか。

## 8 片岡 健一郎 議員

- 1 行政区と市との関わり方について問う
- (1) 現状、各行政区で役員選出など課題となっていることを当局は把握できているか。
  - (2) 行政区から市への要望書に対する回答については期限を決めて実施することを求める。
  - (3) 行政区担当職員制度を導入し、情報共有をすることにより行政と区、また区と区の連携をより深めて持続可能な行政区運営を推進してはどうか。
- 2 岩倉市内における放置自動車について
- (1) 岩倉市内における放置自動車の傾向はどうか。
  - (2) 持ち主不明で市が負担している調査、撤去などに掛かる費用はどうか。
  - (3) きれいなまちづくりという観点からも条例化して毅然とした姿勢で放置自動車問題に取り組むべきと考えるが当局の見解を問う。
- 3 最先端技術を取り入れたまちづくりについて
- (1) 自動運転技術、ドローン、AI技術に代表されるように最先端技術の進歩は目覚ましい。これらの技術を積極的に取り入れ、特色あるまちづくりについての見解を問う。
  - (2) 全国的に見ると最先端技術を持った企業の実証実験を積極的に誘致し、まちづくりに活かしている自治体があるが、本市も積極的に誘致してはどうか。
- 4 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の用途について

- (1) 国の第3次補正予算で岩倉市へ1億6千万円ほどが交付される。この交付金の用途の検討状況はどうか。
- (2) 持続可能な市内事業者応援という観点から、岩倉駅改札口前で市内事業者がワゴン販売をできる夜マルシェを市が主催し、定期開催してはどうか。
- (3) 経済の活性化および新型コロナウイルス感染症対策の観点から、電子決済での還元事業を本市で実施してはどうか。

## 9 堀 巖 議員

### 1 防災について問う

- (1) 地域防災計画は、コロナにより、どのように変更されるか。
- (2) 避難所で集団生活できない・したくない市民の割合をどのくらい想定しているか。
- (3) 防災個人ノートを市で作成してはどうか。また、ワークショップで活用してはどうか。
- (4) 南海トラフ地震による下水道被害をどのように予測しているか。
- (5) 濃尾地震と同規模の地震による下水道被害をどのように予測しているか。
- (6) それぞれの想定において、下水道の復旧期間をどのように予測しているか。
- (7) 下水道被害時におけるトイレの問題をどのように計画しているか—マンホールトイレ、個人宅の合併処理浄化槽の活用等

### 2 議会への情報提供のあり方を問う

- (1) 令和2年10月1日にライスセンターで起こった事故の詳細を問う。
- (2) 令和3年1月27日及び29日の給食の一部提供中止の理由を問う。

### 3 農地転用について問う

- (1) 市内の農地の違反転用の現状は、どのようか。
- (2) 違反転用に対する対応は、どのようになっているのか。
  - ① 違反転用であると確認したときには、どのような手続きをするのか。
  - ② これまでの農地法に基づく原状回復措置等の事例はどのようか。